

はじめに

本書は確率統計学を学ぼうとする初学者のために、「確率論」「統計学」のそれぞれについて基礎事項から解説した教科書である。特に大学で数学の教員免許を取得し、将来数学を教える職に就こうとする読者を意識した構成になっている点が特色である。

全部で12章立てであり、前半の1章～6章が確率論、後半の7章～11章が統計学の内容である。最後の12章は、現在の学校教育における確率統計学の指導内容の概観と将来の展望について述べている。

読者としては高校2年程度までの学習内容を理解している者を想定したが、確率統計の基礎事項については必要に応じ、復習の意味もこめて丁寧に解説したつもりである。練習問題にはできるだけ解答を載せ、一人でも学べるように配慮している。

佛教大学の黒田恭史先生には本書の執筆をお勧めいただき、奈良女子大学大学院の嶽村智子さん、江川葉子さんにはいくつかの間違いを指摘していただいた。また、共立出版(株)編集部の方々には多大な編集・校正の労をおかけし、感謝の念に堪えない。こうしたの方々のご協力なくしては本書の刊行はなかったと思われる。

本書が読者のみなさまの学習のお役に立ち、さらに次世代の教育につながっていけば筆者としてこれ以上の喜びはない。

著者を代表して 篠田正人